

平成 30 年度 外部評価委員会（要旨）

場所	セラトピア土岐 3 階 第一会議室
日時	平成 30 年 6 月 29 日（金） 10 時 30 分から 12 時 15 分
委員	昇秀樹委員、島崎成治委員、白石文伸委員、館林慶二委員、土屋和弘委員 楓やす子委員
事務局	水野総務部長、林総合政策課長、田中総合政策課主幹、林総合政策課長補佐、 本間総合政策課主任主査、土本総合政策課主査

● 個別事業に対する意見について

◎ 観光 PR 事業について

- 外国人観光客について、土岐市の現状はどうか。
→ 現在は少ないほうである。
- 現在の手法では、広がりが無いように感じる。観光を一つの産業としてお金を落としてもらって仕掛けづくりが必要である。宿泊施設も含めて PR を。
- 若手陶芸作家の作品には商品としての力がないため、土岐市の代表として扱われることは残念である。
⇒ 名人、大家のような作家とセットで PR するのが効果的である。
- 近隣では可児市の行っている郷土教育が参考となるのではないか。
- 各町ここでのイベントではある程度集客力があると思うが統一感が必要である。
- 土岐市のイメージがアウトレットになりつつあるように感じる。地場産業である陶磁器のイメージが薄くなっている。
- 作陶体験をした後、土岐市内で飲食、遊ぶところがない。
- 土岐市は PR が下手なように感じる。現在テレビドラマで舞台となっているのであれば、それを利用してどんどん PR していくべき。
- 土岐市民が土岐市の良い所を自慢できていないのではないか。子どもたちへの指導のなかで取り組むことも必要ではないか。
- 土岐市のパンフレットにいつも煙突が掲載されている、土岐市の象徴なのか。
- 家族がゆっくりと過ごせることをパッケージとすることが良い。作陶体験、焼窯体験、バーベキュー施設など単発ではなく抱き合わせで行ってはどうか。

- 人の動線を作る仕組みが必要。陶彫の写真を数枚撮影することでアイスクリームが無料になる、などの特典により動線を作る、など。
- 観光の目的地がない。市内に点在する陶彫を1ヶ所に集め、陶彫の森という新たな観光の目的地を作ってはどうか。
- 組織力が不足している。民間、各地域の代表も含めて観光というテーマで大きな組織を作ることが必要である。
- インバウンドを取り込む際、アジア系、欧米系では趣味嗜好が異なる為、パンフレットの作り方を変える工夫が必要である。
- 土岐市の産業、生活すべてを売り物となるような空間デザインをすると良い。窯元民宿など、食事、体験、宿泊がまとまったデザインで検討を。
- 農林業、製造業、商業、すべてを含めて観光の見直しを。

◎ まちづくり活動支援事業について

- とても良い事業である。開催場所が各テーマごとに異なるが、同じテーマでも複数の場所で開催できると参加者の偏りがなくなると思う。
- 住民の参加意欲が低いと感じられる昨今だが、こういった事業を通じて問題意識を持って参画する人が増え、活動が広がっていくことが期待できる。
- PRが不足している様に感じる。
→ 広報とき、市のホームページ等で掲載している。
- 資料のレベルがとても高い。今後ファシリテーターに頼らない運営をした時に同水準のものができると期待する。
- 人と人とのつながりの良さを感じてもらえるような形になっているので良いと思う。今後も各テーマとは別に裏テーマとして人と人とのつながりの良さを感じれるようにしてほしい。
- こうした活動の受け皿となる公民館などの施設が、地域によって不足していることがあると感じる。

平成30年度 外部評価委員 事前評価

	委員A		委員B		委員C		委員C		委員D	
	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
特定不妊治療費助成事業	有効である	知っている人がまだ少ないと思う	継続の実施が必要		有効である		手法の見直しが必要	年齢の制限をなくした方が良い。	継続の実施が必要	
健康づくり事業	有効である	参加者がまだ少ない	手法の見直しが必要		有効である		継続の実施が必要	もっと多くの市民の参加を促す。	継続の実施が必要	
食生活改善推進員育成事業	有効である		継続の実施が必要		有効である		手法の見直しが必要	広報で見るだけで知れ渡っていない。	継続の実施が必要	
健康教育相談事業	有効である		継続の実施が必要		有効である		継続の実施が必要	もっと多くの市民の参加を促す。	継続の実施が必要	
子育て外出支援事業	有効である	施設の改善は市内全域で順次推進してほしい	継続の実施が必要		有効である		継続の実施が必要	現状維持で良いと思います。	手法の見直しが必要	
給食費(主食代)補助事業	有効である	子育ての支援としてとても大切な事業です。自治体、社会、国がもっと力を入れていく必要が少子化を止めることにもつながります。	継続の実施が必要		有効である		継続の実施が必要	現状維持で良いと思います。	有効である	
美濃焼振興事業	継続的な実施が必要	手法の見直しというより向上を目指すこと	継続の実施が必要	①窯業原料の枯渇問題にスピード感を以て取り組む ②セラテクノを中心に(増強)して各メーカーや商社にデザイナーを派遣して商品グレードのアップを図る ③セラテクノを中心に(増強)して新しい窯業(食器以外の製品)の開発を企てる。(工業デザイナー等と契約して新用途開発を計る) ④県の海外事務所と協同して美濃焼の海外展示・販売を企画する。 ⑤市内の空き室対策と合せて窯業に関心のある青年の定住を計る	有効である		継続の実施が必要	市民にまずは美濃焼の魅力を感じてもらう事が必要だと思うので、継続の必要性があると思います。	継続の実施が必要	
観光関連団体活動支援事業	継続的な実施が必要		有効でない	活動が少なく意義が薄い	有効である		有効である	補助金の交付により組織の強化につながれば継続すべき。	継続の実施が必要	
観光拠点施設運営事業	継続的な実施が必要		有効でない	非常にお粗末 土岐市発うまい物開発。専門家を招いて開発を行う	継続の実施が必要	市外、県外からの観光客の入館者、アウトレット来場者の回遊者を増やすための工夫をすべきでは	手法の見直しが必要	若い人から定年後の方まで働く場所が出来る。 ↓ 郷土愛につながる ↓ 観光の促進になるので良いと思います。	継続の実施が必要	
観光イベント助成事業	手法の見直しが必要	自治会では自治会からの土岐市織部まつりに対しての補助金額が多すぎると話す区長が多い。	有効である		有効である		有効である	補助金の交付により組織の強化につながれば継続すべき。	継続の実施が必要	
観光PR事業	有効である		手法の見直しが必要	パンフレットが中途半端で面白くない(目的が明確でない) 商工会議所でも観光委員会を設置して提案型(目的別)観光パンフレットを作成予定です。	有効である		継続の実施が必要	どの位の効果があつたかはわからないが継続すべき。	継続の実施が必要	
創業者支援事業	有効である	成功例を示してもらいたい	継続の実施が必要	もっと積極的な活動を望む ①大規模小売店の進出や少子高齢化によって各地で買い物難民問題が出始めている。今後の各地小売業の継承を考えると今から手を打っておかないと、土岐市の崩壊につながる大きな問題である。この問題についての計画は？ ②総合政策の中に重要であると思われる夢がない。この総合政策を見て土岐市に住みたいと思わない。ぜひ特徴ある計画、政策を。	継続の実施が必要	今後とも市行政と商工会議所等民間団体との協働が必要	継続の実施が必要	現状維持で良いと思います。	継続の実施が必要	
公民館自主講座活性化事業	有効である	泉公民館の場合、使用は相当多いが現在それに対応できる状況ではない。施設の機能が低すぎる。	継続の実施が必要		有効である		手法の見直しが必要	市民が興味を持てる様な内容にする。	有効である	
スポーツの普及交流事業	手法の見直しが必要	焼津との交流は遠くて時間がとれない	継続の実施が必要		有効である		有効である	健康促進と市民同士の繋がりの促進になる為、良いと思います。	継続の実施が必要	
競技力向上に関する事業	手法の見直しが必要	特定の人に偏りすぎていると感じることが多い	継続の実施が必要		有効である		有効である	健康促進と市民同士の繋がりの促進になる為、良いと思います。	継続の実施が必要	
文化財保護活用事業	手法の見直しが必要	出土遺物の整理調査等に一般の人の参加を増やすことが大切ではないか。一般の市民にもっと興味を持ってもらうことを考える必要がある。	手法の見直しが必要	もっと積極的に文化財の展示等を行ってほしい	有効である		継続の実施が必要	もっと多くの市民の参加を促す。	継続の実施が必要	
文化芸術活動振興事業	有効である	芸術は人の心を豊かにします。文化プラザだけでなく地域の公民館、寺社(屋外も含めて)でのコンサートを手軽に身近にあつたらよいと思う。	有効でない	プラザの活動については概ね満足。文化会館の廃棄(現状であれば)もったいない。	有効である		継続の実施が必要	もっと多くの市民の参加を促す。	手法の見直しが必要	
防災支援事業	有効である	災害図上訓練は熊本地震で効果をだした地域がありましたので大切です。	継続の実施が必要	消防団員に対する出動手当の増額し、団員減少を少しでもくい止める	有効である		有効である	各自自治体に資格取得者がいると良い。	継続の実施が必要	
街路灯設置補助事業	有効である	LEDは明るく耐久性もあり良いと思いますが、街路灯の死角等がまだ多いです。	継続の実施が必要		有効である		有効である	もっと力を入れても良いと思います。	有効である	
婚活イベント支援事業	有効である	私が住む泉町大富区では、区が費用を出してでも婚活したらどうかという声が聴かれるくらい重要な問題となっています。	継続の実施が必要		有効である		継続の実施が必要	人口が増える様継続すべき。	継続の実施が必要	
空き家バンク活用事業	有効である	私の隣にも3件あります。便利の良いところのため方法を考えれば入居される可能性もあります。	継続の実施が必要		有効である		有効である	若い世代が少ない地域の発展に繋げられる。	継続の実施が必要	
まちづくり活動団体支援事業	有効である		手法の見直しが必要	よく見えない	有効である		有効である	活性化に繋がれば良い。	継続の実施が必要	
定住促進奨励事業	有効である	土岐市のまちづくりには重要	有効である		有効である		有効である	定住者の増員に繋がるので良いと思います。	継続の実施が必要	
まちづくり活動支援事業	手法の見直しが必要	個人的には効果がでていないと思います。	有効である	もっと積極的に	有効である		有効である	まちづくりに対し、市民の意識の向上につながる為、良いと思います。	有効である	
防犯対策事業	有効である	私は現在土岐市駅前周辺パトロール団体(250名)の代表をしていますが、活動費用は連合区で拠出しています。補助金があるとありがたいです。※今回中部6県の大会に岐阜県代表で出場するのですが、応援も含め10人程度で参加予定です。その交通費もすべて自治会からでています。	継続の実施が必要		有効である		有効である	人数を増やし、小中学校の登下校時を重点に見守る。大通りだけでなく、人通りの少ない通りもパトロールを行える様になると良い。	継続の実施が必要	
消費者相談支援事業	手法の見直しが必要	市内の公民館等に出向き相談を受けることも必要だと思います。	継続の実施が必要		有効である		継続の実施が必要	被害を未然に防ぐよう各家族に継続してチラシを配布する。	継続の実施が必要	

平成30年度 第1回 外部評価委員会 次第

日 時 平成30年6月29日（金）

午前10時30分から

場 所 セラトピア土岐3階 第1会議室

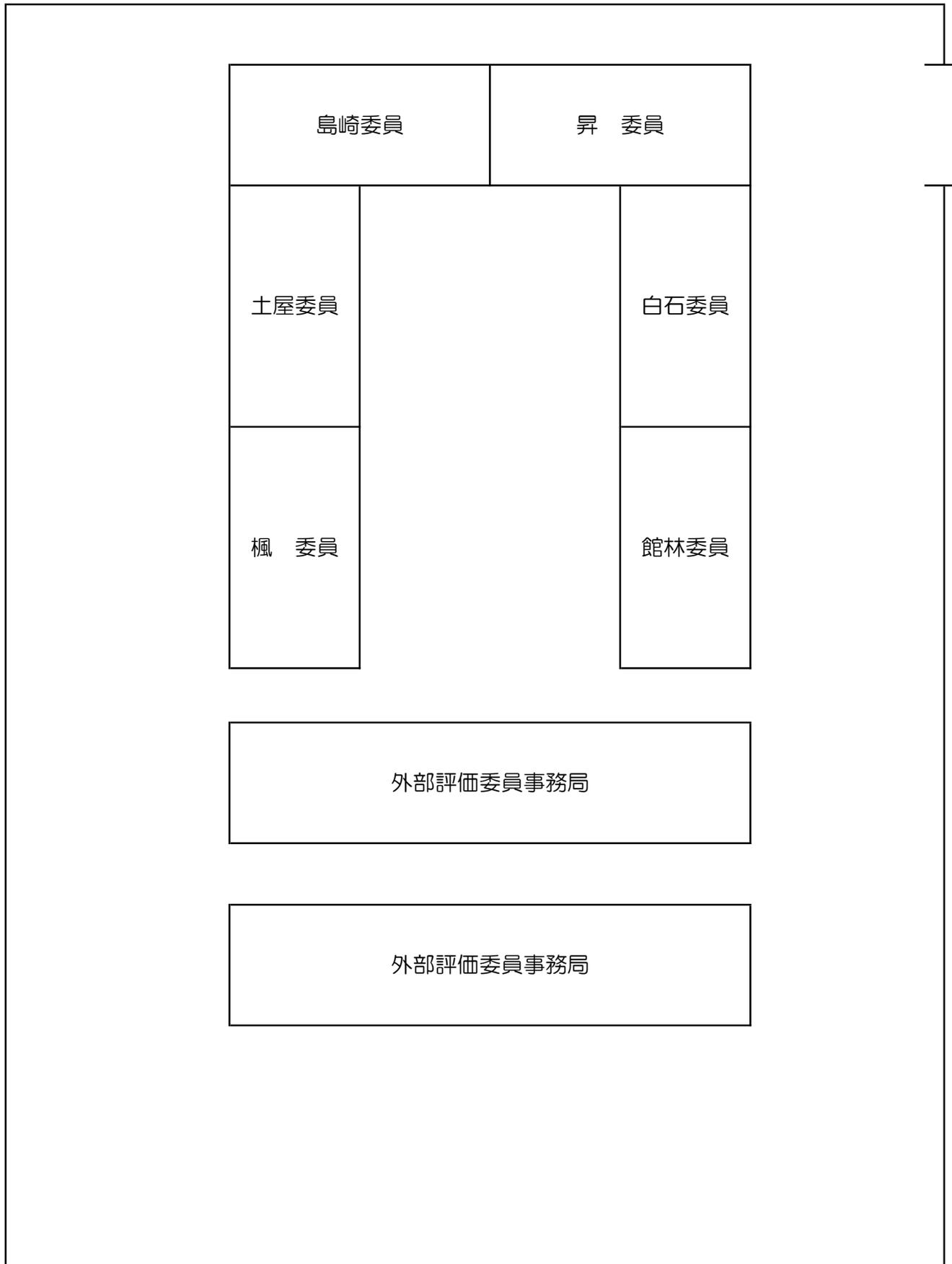
開 会

1. 総務部長あいさつ
2. 外部評価委員会について
3. **【評価事項】**
事業に関する評価について
 - ・観光PR事業
 - ・まちづくり活動支援事業
4. 閉 会

土岐市外部評価委員 出席者（敬称略）

名城大学 教授	のぼる ひでき 昇 秀樹
土岐商工会議所 会頭	しらいし ぶんしん 白石 文伸
土岐市連合自治会 副会長	しまぎき せいじ 島崎 成治
土岐青年会議所 理事長	つちや かずひろ 土屋 和弘
土岐市社会福祉協議会 会長	たてばやし けいじ 館林 慶二
土岐市女性連絡協議会	かえで やすこ 楓 やす子

外部評価委員会 座席表 (第1会議室)



施策

観光の振興

市民や来訪者が本市の魅力を楽しめるよう、美濃焼をはじめとする産業・文化・歴史資源を活かした観光、温泉を有効活用し自然や景観を活かした観光の振興を図ります。

※数値上段：年度目標値／下段：実績値

	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成	平成37年度目標値
主観	市民意識調査『観光の振興』の満足度	%	—	12.5	21.8	×	30.0
			—	20.9	13.0		
客観	観光入込客数(総数)	千人	7,659	7,700	7,742	○	7,867
			9,691	9,672	9,601		
客観	観光入込客数(アウトレット除く)	千人	2,265	2,287	2,310	○	2,376
			2,333	2,337	2,403		
客観	イベント来場者数	千人	664	671	677	×	696
			448	431	419		

事業

観光PR事業

事業費	14,400千円
実施内容(平成29年度)	土岐市観光振興計画に基づいた各種施策を実施し、土岐市の観光の活性化を図った。 ・イベント情報誌制作 ・観光パンフレット増刷 ・若手陶芸作家集団によるシティプロモーション ・雑誌掲載広告 ・東濃ぐるりん観光事業など
事業担当課による評価	現状のまま継続することが適当 PR活動を個々のものとしてではなく、連携融合した取組みとして相乗効果を生むように計画していく必要がある。
外部評価委員による評価	有効である 3 継続的な実施が必要 1 手法の見直しが必要 1

今後の事業内容(予定)

雑誌広告掲載(東海ウォーカー)
駅北PR看板掲出
パンフレット作成(イベントガイド、増刷)
美濃焼を活用したシティプロモーション
観光大使活用事業

施策

協働まちづくりの推進

市民と行政がそれぞれの役割と責任を確認しながら、協働して進めるまちづくりの仕組みを構築します。また、自治会等の地域活動や、NPO・ボランティア等による市民活動を支援し、行政との協働・連携によるまちづくりに取り組みます。

※数値上段：年度目標値／下段：実績値

	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成	平成37年度目標値
主観	市民意識調査『協働まちづくりの推進』の満足度	%	—	—	12.2	×	20.0
			—	11.4	10.2		
主観	市民意識調査『市民の意見が土岐市のまちづくりに活かされていると思う』割合	%	—	—	15.1	○	20.0
			—	14.6	16.8		

事業

まちづくり活動支援事業

事業費	3,781千円
実施内容(平成29年度)	まちづくりに関して、各種活動団体や個人など市民と行政で土岐市のまちづくりについて勉強会やワークショップ、イベントを企画実施し、活動を継続して行う。 ・活動プロジェクトのコーディネーター育成 ・ワークショップの実施 ・イベントの実施 ・各チームの活動を支える仕組みの検討・構築 ・活動の振り返りと次年度計画策定等準備
事業担当課による評価	現状のまま継続することが適当 まちづくり活動を展開するあらたな担い手が創出されつつある。従来の本市にはない形の構成メンバーによる展開で、チーム間の連帯感も醸成されつつあり、その活動に大きな期待をする。
外部評価委員による評価	有効である 4 手法の見直しが必要 1

今後の事業内容(予定)

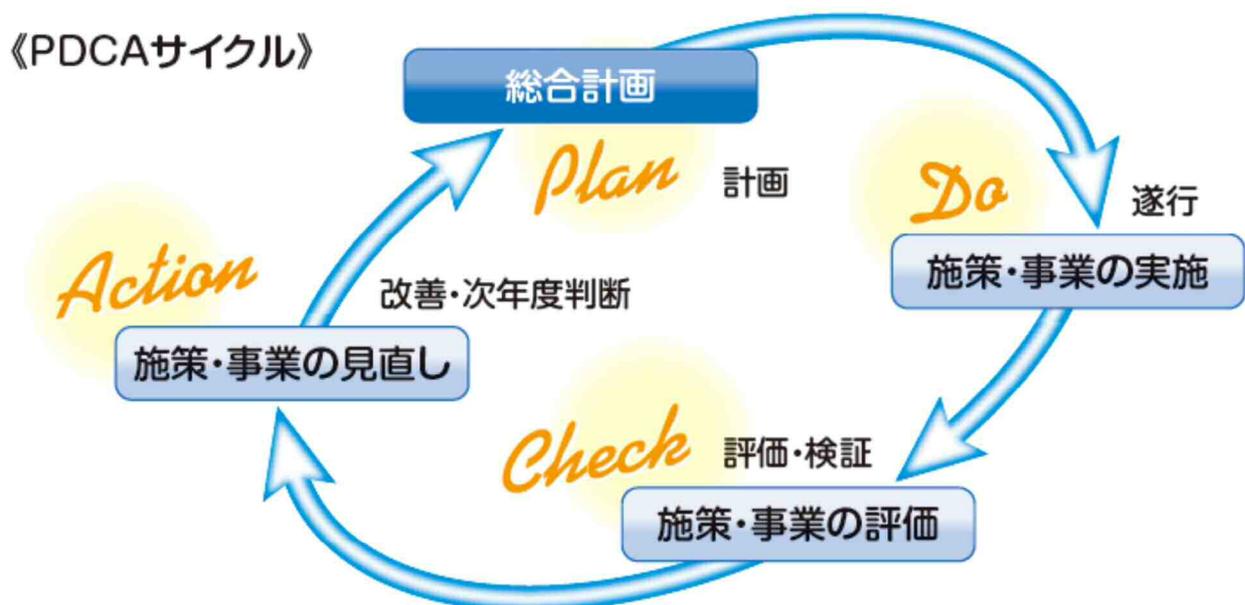
活動プロジェクトのコーディネーター育成
WSの実施
協働に対する職員の意識啓発を図る研修
イベントの実施
各チームの活動を支える仕組みの検討・構築
活動の振り返りと次年度計画策定等準備

外部評価実施について

土岐市では、福祉や環境、防災や防犯といった私たちに身近な分野で、今後、どのような方向で事業を実施していくのかを示し、「協働」を基本に、土岐市に関わるすべての人々が、共に理解し協力してまちづくりをしていくために、総合計画を策定しています。

平成28年度を始期とした第6次総合計画では、総合計画に基づいて実施される施策や事業について、PDCAサイクルで進行管理をすることとしています。評価にあたっては、最終的にどうなることを目指すかという「目標指標」を設定した進捗管理を行うとともに、施策・事業の担当課による評価だけでなく、市民や有識者などの参画も含めて複合的な視点を取り入れた評価を行うこととしています。

■ PDCA サイクルと評価・見直しの方法



外部評価委員の皆さまによる市民目線のご意見をいただくことにより、選択と集中の考え方にに基づき、中長期的な視点からみた市の重要政策分野について重点的な対応を図り、効率的に施策や事業を推進してまいります。

外部評価の進め方

総合計画での外部評価では、「基本目標・施策」に位置付けられる「実施計画事業」の有効性について、外部評価委員の皆さまからのご意見をいただくこととしています。

- 基本目標・施策 … 総合計画で示される「まちの将来像」の実現に向けて、各分野で取り組むまちづくりの基本的な方向性として、5つの基本目標、その下に35の施策を掲げます。
- 実施計画事業 … 基本目標、施策を達成するために実施した事業です。外部評価では、この事業についての有効性を検証します。